
アクリア α (充填) + ネオマフォーム (外張り) 標準納まり図集

—— The Way to G3 ——

旭ファイバーグラス株式会社

<https://www.afgc.co.jp>

旭化成建材株式会社

<https://www.asahikasei-kenzai.com>

「アクリアα(充填)+ネオマフォーム(外張り)標準納まり図集」ご利用の前に

1. 本標準納まり図集の主旨

本標準納まり図集(以下、「本書」という)は、アクリアα(充填)とネオマフォーム(外張り)を用いた付加断熱工法の納まりの標準を示したものです。建築設計事務所様および建築施工会社様での住宅の設計にあたり、断熱材の設計・施工・管理を適切に実施いただきますために、事前に本書をよくお読みの上、ご使用ください。尚、本書に依らない納まり等とする場合は、建築設計事務所様、建築施工会社様にて適切な納まりとなるよう事前にご確認をお願いします。

2. ご注意とお願い

- アクリアαおよびネオマフォームの、製品の取扱いおよび安全に関する注意事項については、各製品のホームページやカタログをご確認ください。
- 防耐火認定が必要な場合は、認定内容の詳細をご確認ください。
- 仕様・外観・施工法等は予告なく変更することがありますので、ご了承ください。
- 印刷物と実物とは、多少外観が異なることがありますので、あらかじめご了承ください。

3. 本標準納まり図集で使用している数値

本書で示した数値は、設計値(標準設定値)であり、絶対値や保証値ではありません。また、製品の許容差は、特記なき限り本書では取扱いません。

4. 本標準納まり図集以外の技術資料等

本書以外の技術的見地は、下記の技術資料によるものとします。

- ・建築基準法、同施工令
- ・関連する国土交通省(旧建設省)告示
- ・住宅金融支援機構 工事仕様書(一般財団法人 住宅金融普及協会 発行)
- ・日本住宅性能表示基準・評価方法基準技術解説(一般財団法人 日本建築センター 発行)
- ・建築工事標準仕様書・同解説 JASS24 断熱工事(一般社団法人 日本建築学会 発行)
- ・住宅の平成 25 年省エネルギー基準の解説(一般財団法人 建築環境・省エネルギー機構 発行)
- ・住宅省エネルギー技術講習テキスト 設計・施工編(一般社団法人 木を活かす建築推進協議会 発行)
- ・発泡プラスチック断熱材による外張り施工のポイント(発泡プラスチック外張断熱協会 発行)

【免責事項】

- ①本標準納まり図集に記載した取扱い事項が行われずに発生した不具合
- ②設計者、施工業者等使用者の指示した仕様・施工方法に起因する不具合
- ③設計者、施工業者等から支給された材料・部品に起因する不具合
- ④施工業者による施工、取扱いに起因する不具合
- ⑤建築の構造・下地の変形・老朽化や外部からの衝突等、弊社の製品以外の外的要因により発生した不具合
- ⑥使用者もしくは第三者の故意または過失による不具合
- ⑦引き渡し後、構造・性能・仕様等の改変を行い、それに起因する不具合
- ⑧瑕疵を発見後すみやかに届けがされなかった場合
- ⑨開発・製造・販売時に通常予想される環境等の条件下以外における仕様・保管・輸送等に起因する不具合
- ⑩地震・台風等の天災、火災等の特殊要因が原因になり発生した不具合

※日本国内での使用を前提としています。

日本国外で使用する場合、製品仕様が使用国の法令、規格に適合しない可能性があります。

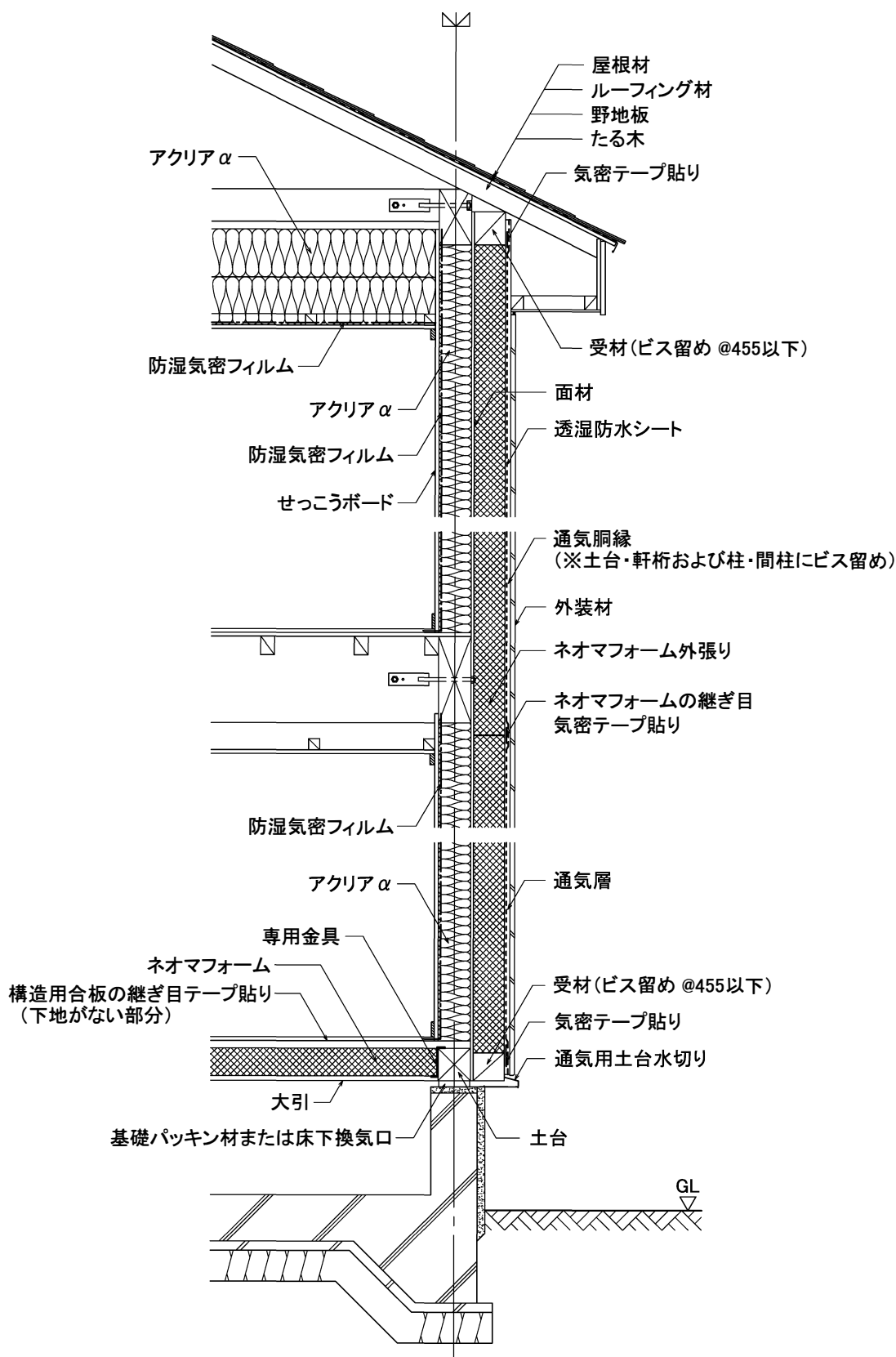
以上

標準納まり図 図番一覧表

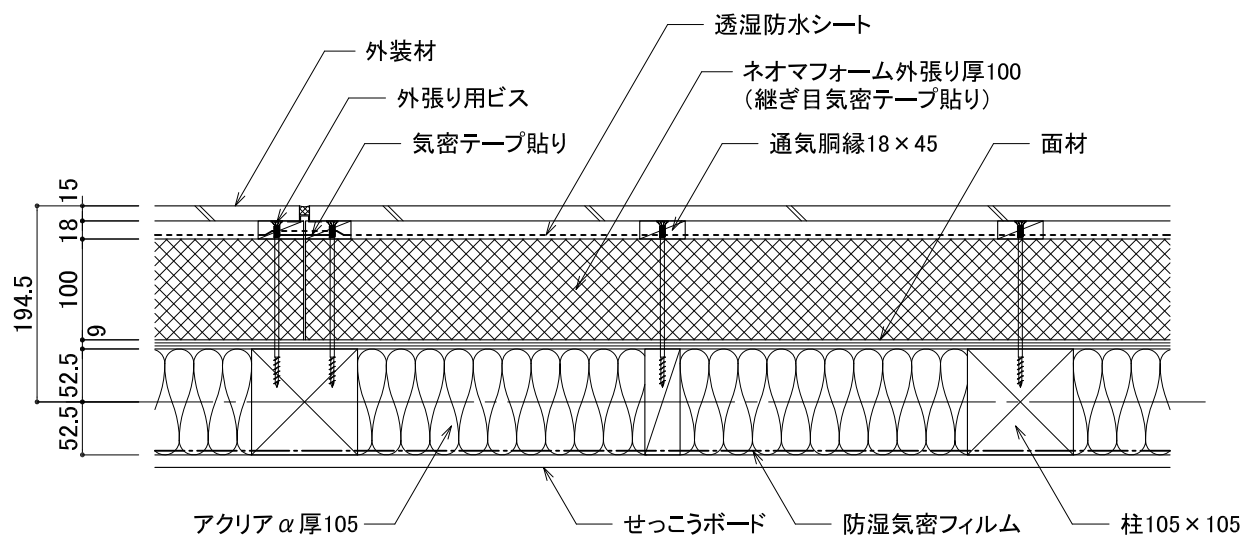
矩計図	図番-01	[天井断熱+壁付加+床充填]仕様例
壁納まり断面図	図番-02	壁一般部(充填 105mm+外張り 100mm 例)
	図番-03	開口部まわりの防水気密テープの貼り方
	図番-04	出隅部(充填 105mm+外張り 100mm 例)
	図番-05	入隅部(充填 105mm+外張り 100mm 例)
矩計図	図番-06	[天井断熱+壁付加(外張り 2 層)+床充填]仕様例
壁納まり断面図	図番-07	壁一般部(充填 105mm+外張り 60+80mm 例)
	図番-08	出隅部(充填 105mm+外張り 60+80mm 例)
	図番-09	入隅部(充填 105mm+外張り 60+80mm 例)
床部位納まり断面図	図番-10	床～壁取合部 (大引間 90mm／根太間 45mm+大引間 90mm 例)
	図番-11	ユニットバスまわり(立上り 80mm 例)

参考資料 1 : 推奨部材 外張り用ビス「ネオマフィットビス」について

- ・壁ネオマフォームは、軒桁まで張り下げ、天井断熱は、壁との取合部に断熱欠損が生じないように、ていねいに施工します。
- ・天井と壁・床と壁の各取合部は、必要に応じて気密補助材を用いて気密層の連続を確保します。
- ・外張り壁の仕様は、ネオマフォームの継ぎ目を気密テープで処理します。

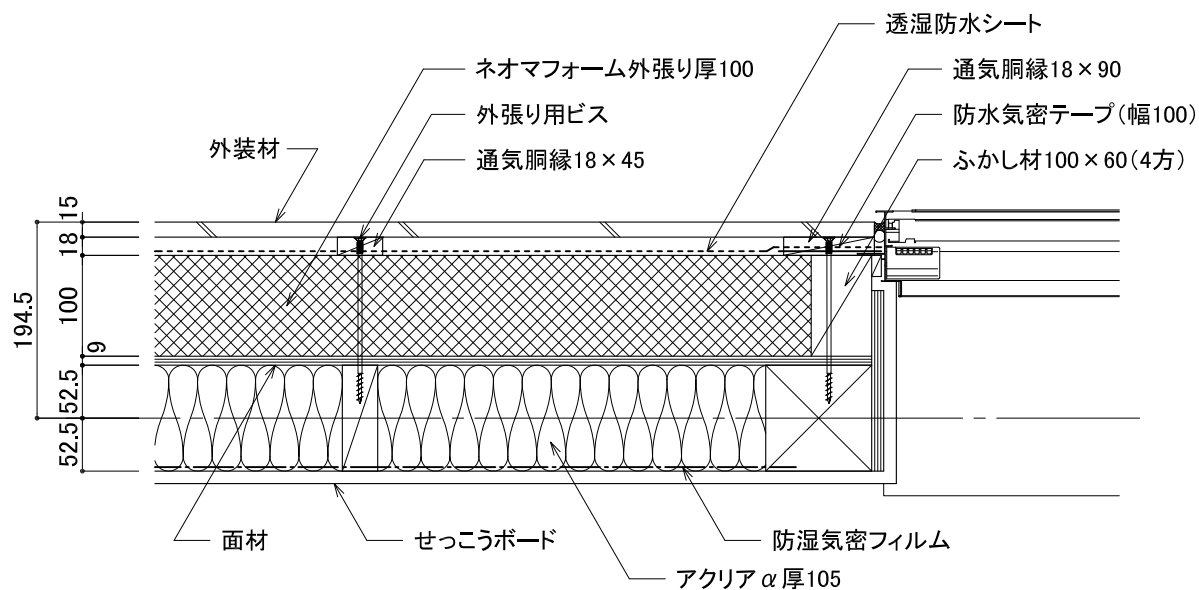


- ・壁ネオマフォームは、施工中に風で飛ばされないよう、柱・間柱に釘等で仮留めします。
 - ・ネオマフォームの継ぎ目には気密テープを貼ります。
 - ・通気胴縁は、外張り用ビスで固定します。外装材の目地部分は2本用いるか、18×90を施工します。
 - ・外張り用ビスのピッチは、外装材の重量やネオマフォームの厚さに応じて選定してください。(参考資料1をご参照ください。)
- ※断熱材の厚さが図面と異なる場合も、同様の納まりとなります。



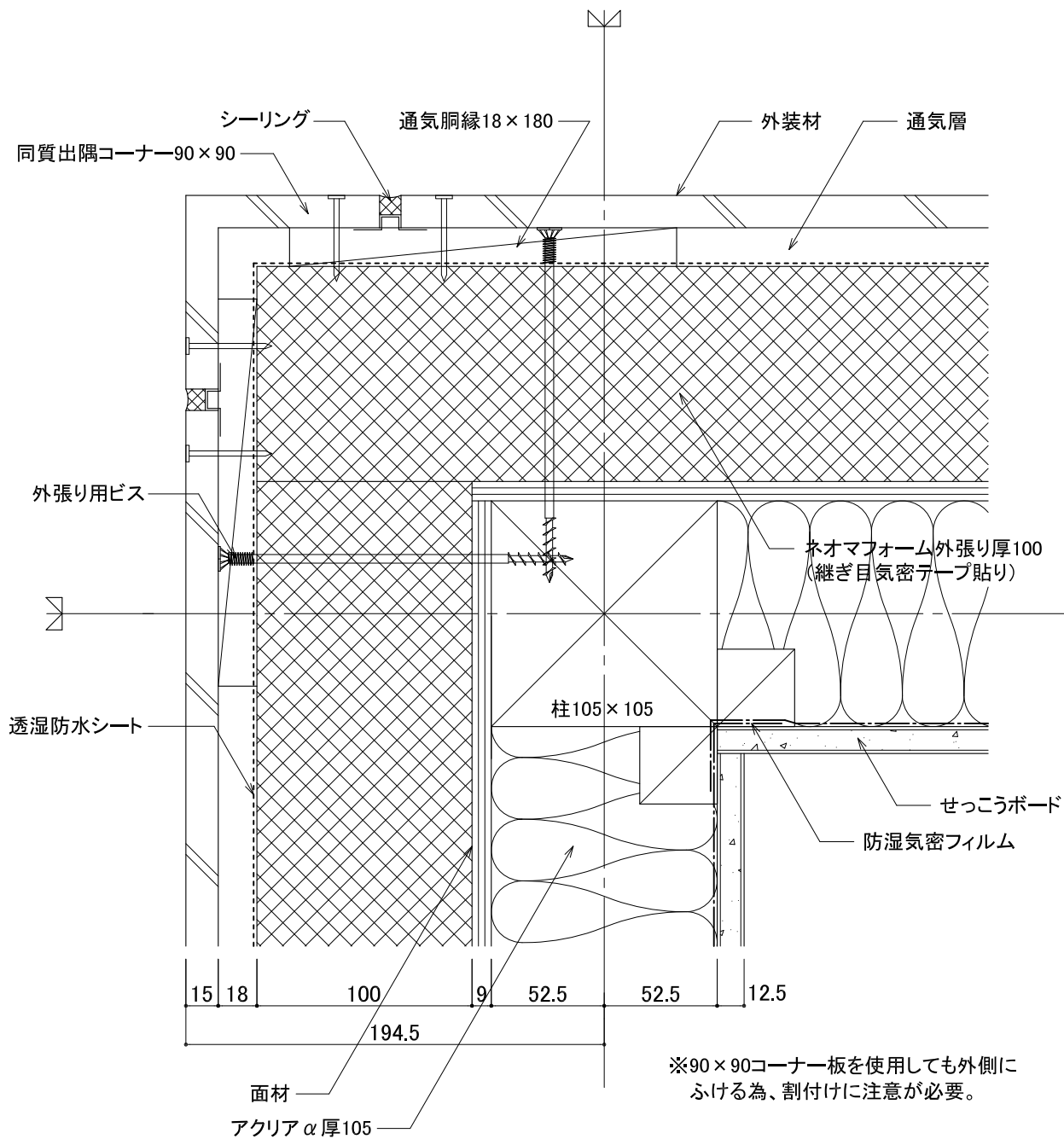
外壁一般部

- ・開口部サッシ廻りは、壁ネオマフォームの施工前にネオマフォームと同じ厚さのふかし材を取付け、外装材とサッシの位置関係が正しくなるように面合せします。
- ・壁ネオマフォームとサッシ枠は、防水気密テープを貼ります。貼り方は図番-03を参照してください。
- ・開口部廻りの通気胴縁は18×90を使用します。
- ・防湿気密フィルム端部は構造部材に重ねてください。



開口部

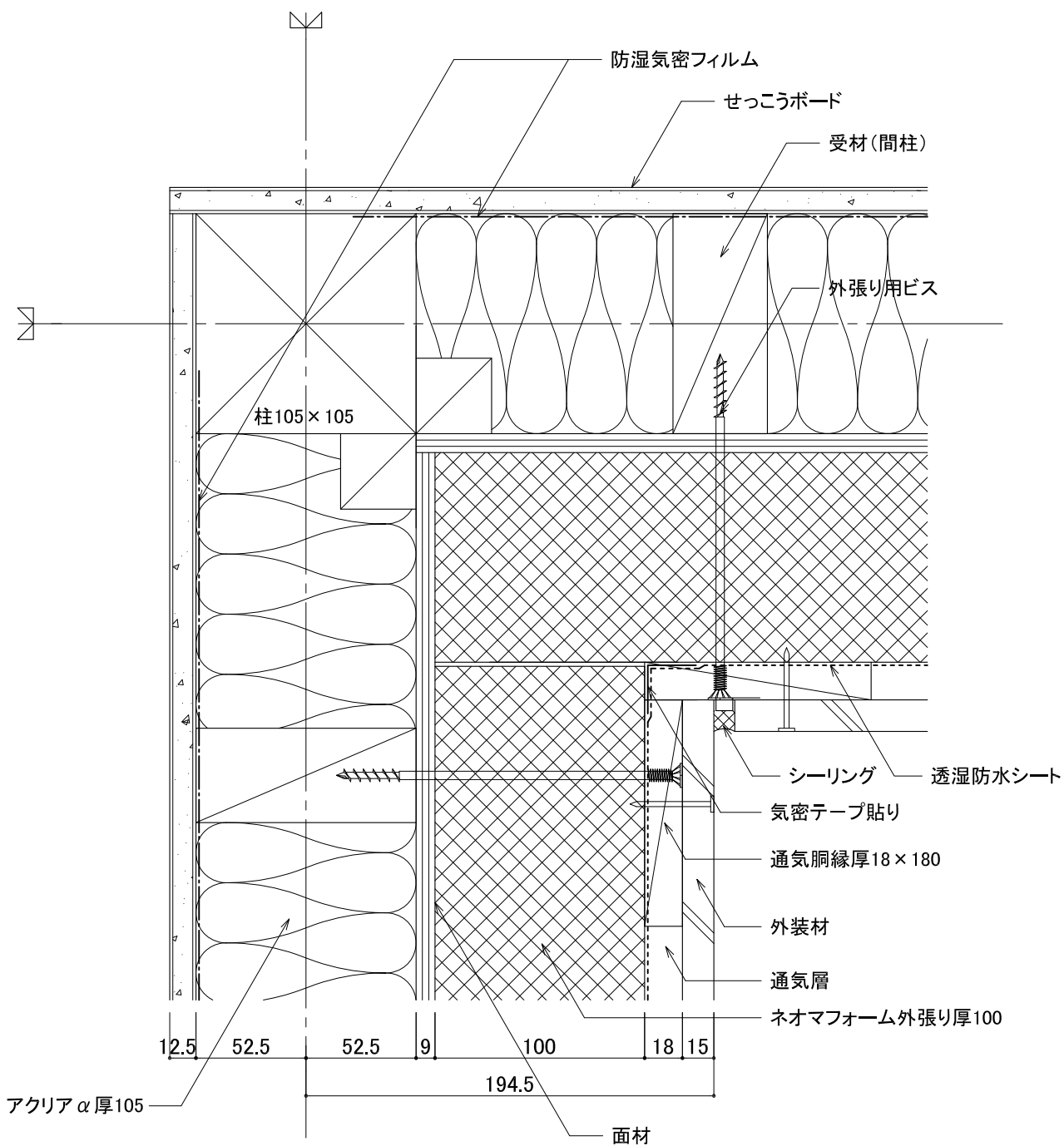
- ・外装材は、ネオマフォームの厚さ分外側にふけますので、割付けに注意して設計します。
 - ・通気胴縁は、外張り用ビスで固定します。
 - ・防湿気密フィルムは出隅部でそれぞれ折り曲げて重ねてください。
- ※断熱材の厚さが図面と異なる場合も、同様の納まりとなります。



※90×90コーナー板を使用しても外側に
ふける為、割付けに注意が必要。

壁出隅部の仕様例

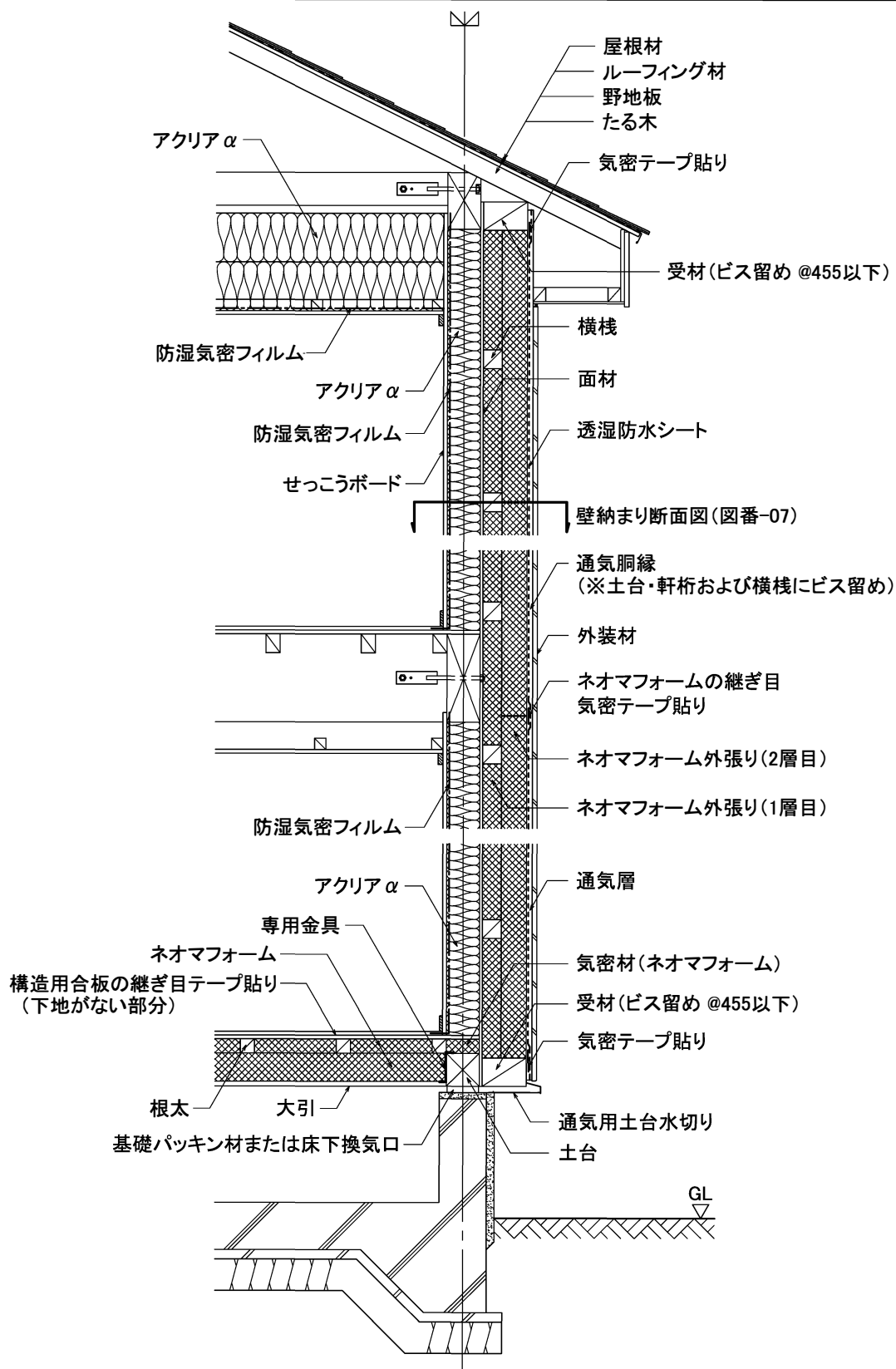
- ・入隅部は壁ネオマフォームを通気胴縁で固定するための受材(間柱)を施工します。
 - ・外装材の寸法と通気胴縁の位置を考慮して、事前に設計してください。
 - ・気密テープは、入隅部でフクレが生じやすいので、折り目をつけてからネオマフォームに密着させるように貼ります。
 - ・通気胴縁は、外張り用ビスで固定します。
 - ・防湿気密フィルム端部は柱と重ねてください。
- ※断熱材の厚さが図面と異なる場合も、同様の納まりとなります。



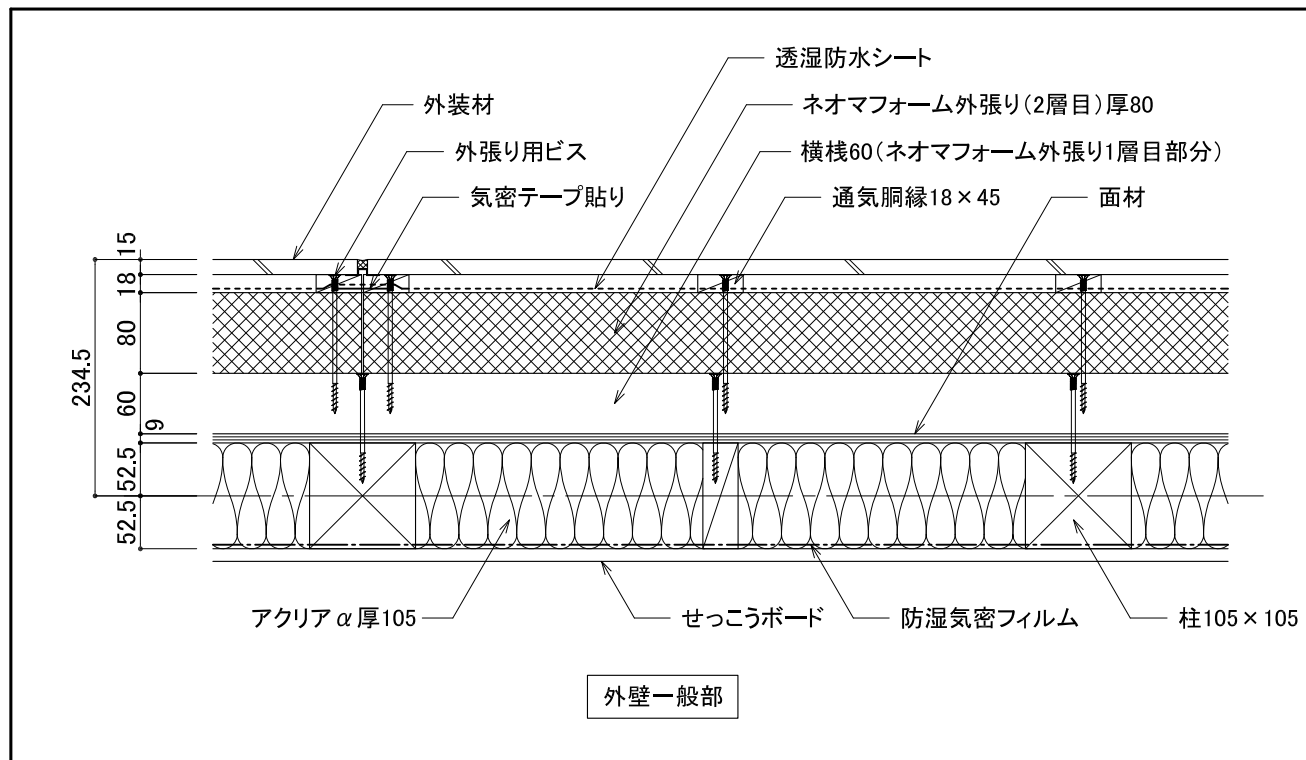
壁入隅部の仕様例

- ・壁ネオマフォームは、軒桁まで張り下げ、天井断熱は、壁との取合部に断熱欠損が生じないように、ていねいに施工します。
- ・天井と壁・床と壁の各取合部は、必要に応じて気密補助材を用いて気密層の連続を確保します。
- ・外張り壁の仕様は、ネオマフォームの継ぎ目を気密テープで処理します。
- ・床充填断熱材は、受材やピンを用いて、1層目と2層目に隙間が生じないように施工します。
- ・横棧は、ネオマフォーム外張り1層目と同じ厚さとします。
- ・横棧の間隔が、通気胴縁のビス留めピッチとなります。

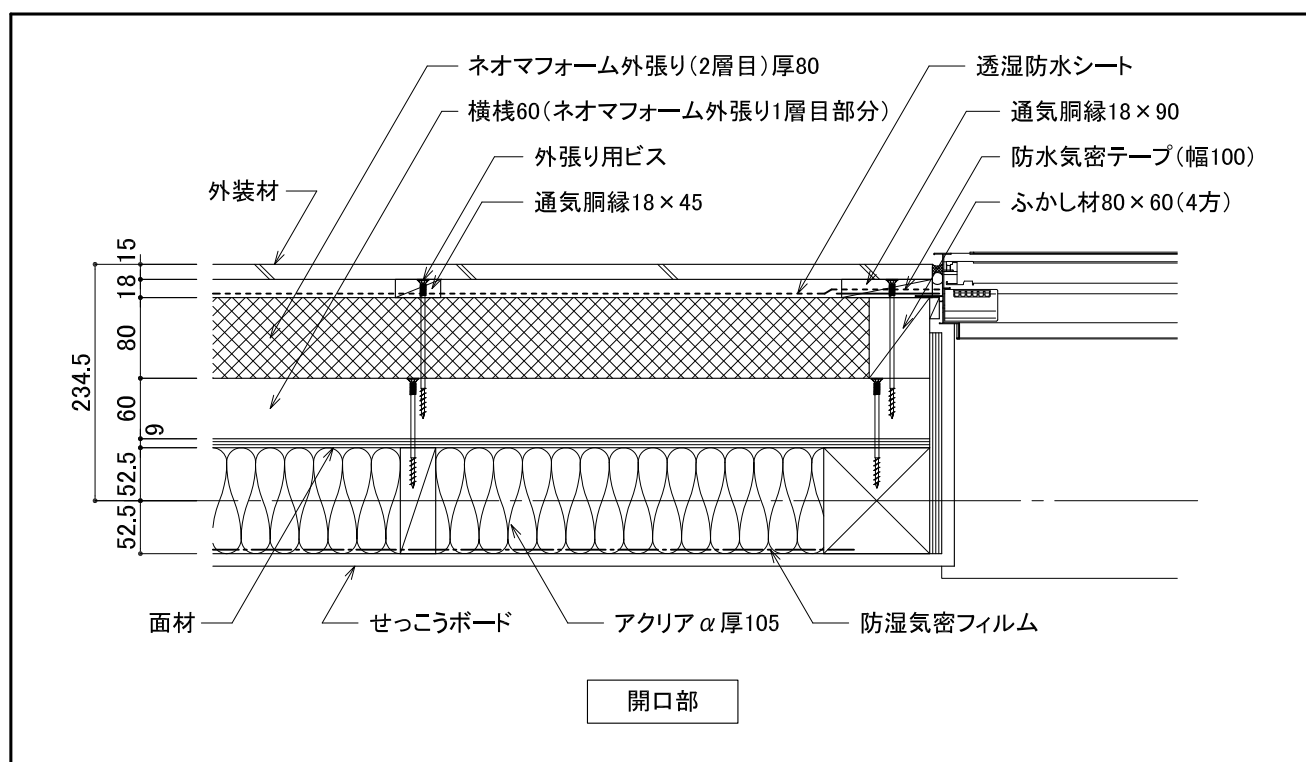
※本仕様(アクリアα充填+ネオマフォーム外張り2層(1層目に横棧を使用))の外壁の防耐火認定は取得しておりませんので、ご留意願います。



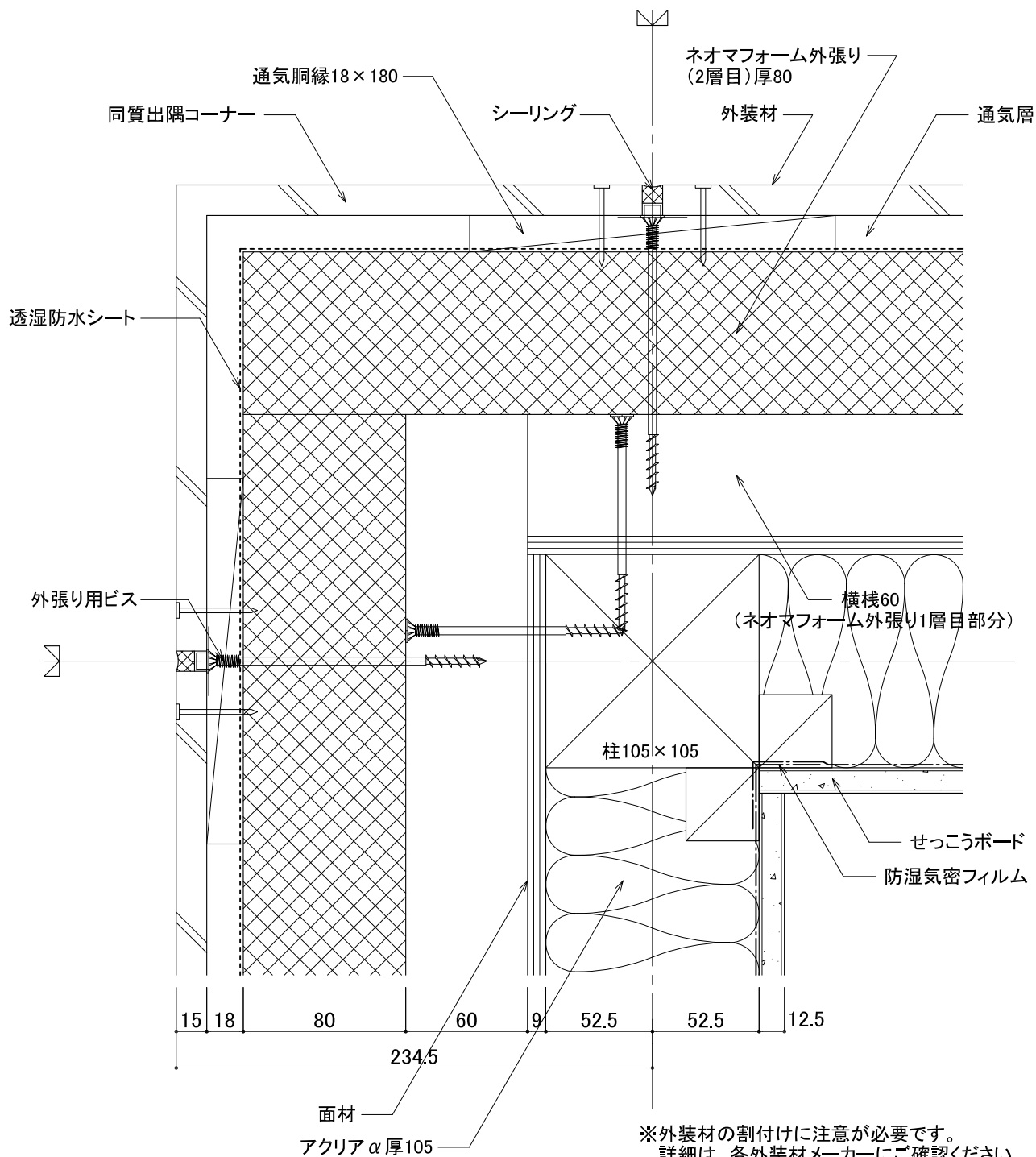
- ・壁ネオマフォームは、施工中に風で飛ばされないよう、柱・間柱・横棧に釘・気密テープ等で仮留めします。
 - ・ネオマフォームの継ぎ目には気密テープを貼ります。
 - ・通気胴縁は、外張り用ビスで固定します。外装材の目地部分は2本用いるか、18×90を施工します。
 - ・外張り用ビスのピッチは、外装材の重量やネオマフォームの厚さに応じて選定してください。(参考資料1をご参照ください。)
- ※断熱材の厚さが図面と異なる場合も、同様の納まりとなります。



- ・開口部サッシ廻りは、壁ネオマフォームの施工前にネオマフォームと同じ厚さのふかし材を取付け、外装材とサッシの位置関係が正しくなるように面合せします。
- ・壁ネオマフォームとサッシ枠は、防水気密テープを貼ります。貼り方は図番-03を参照してください。
- ・開口部廻りの通気胴縁は18×90を使用します。
- ・防湿気密フィルム端部は構造部材に重ねてください。

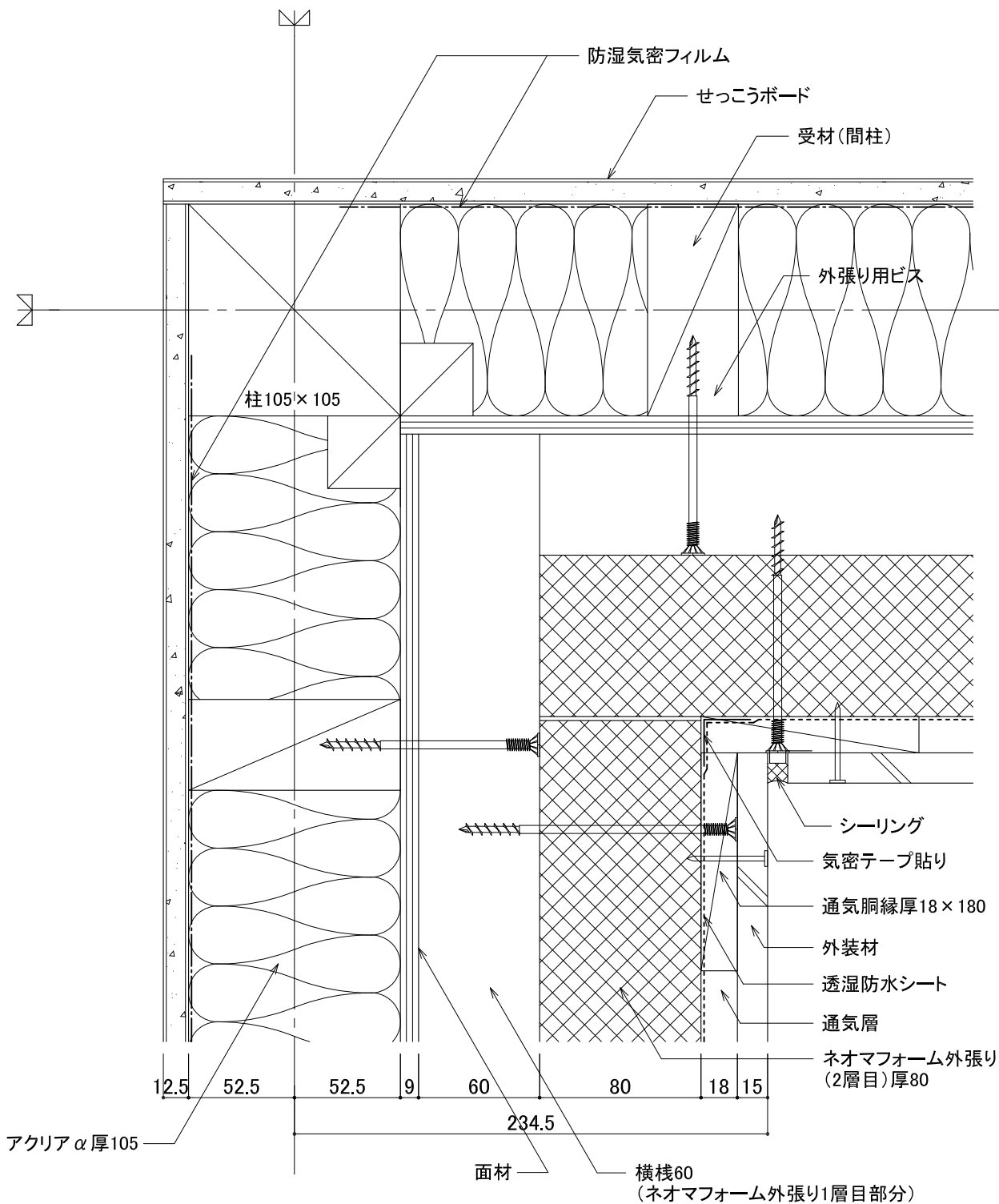


- ・外装材は、ネオマフォームの厚さ分外側にふけますので、割付けに注意して設計します。
 - ・通気胴縁は、外張り用ビスで固定します。
 - ・防湿気密フィルムは出隅部でそれぞれ折り曲げて重ねてください。
- ※断熱材の厚さが図面と異なる場合も、同様の納まりとなります。



壁出隅部の仕様例

- ・入隅部は横桟を固定するための受材(間柱)を施工します。
 - ・外装材の寸法と通気胴縁の位置を考慮して、事前に設計してください。
 - ・気密テープは、入隅部でフクレが生じやすいので、折り目をつけてからネオマフォームに密着させるように貼ります。
 - ・通気胴縁は、外張り用ビスで固定します。
 - ・防湿気密フィルム端部は柱と重ねてください。
- ※断熱材の厚さが図面と異なる場合も、同様の納まりとなります。

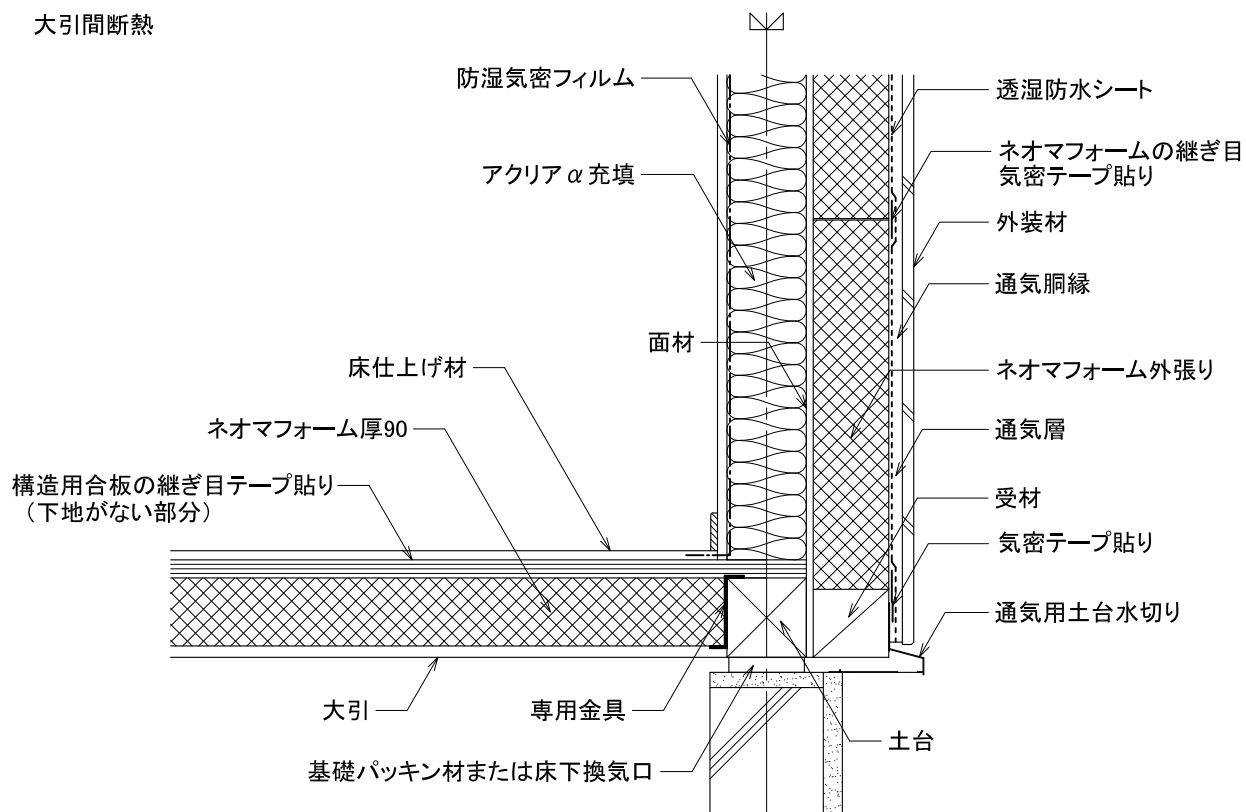


壁入隅部の仕様例

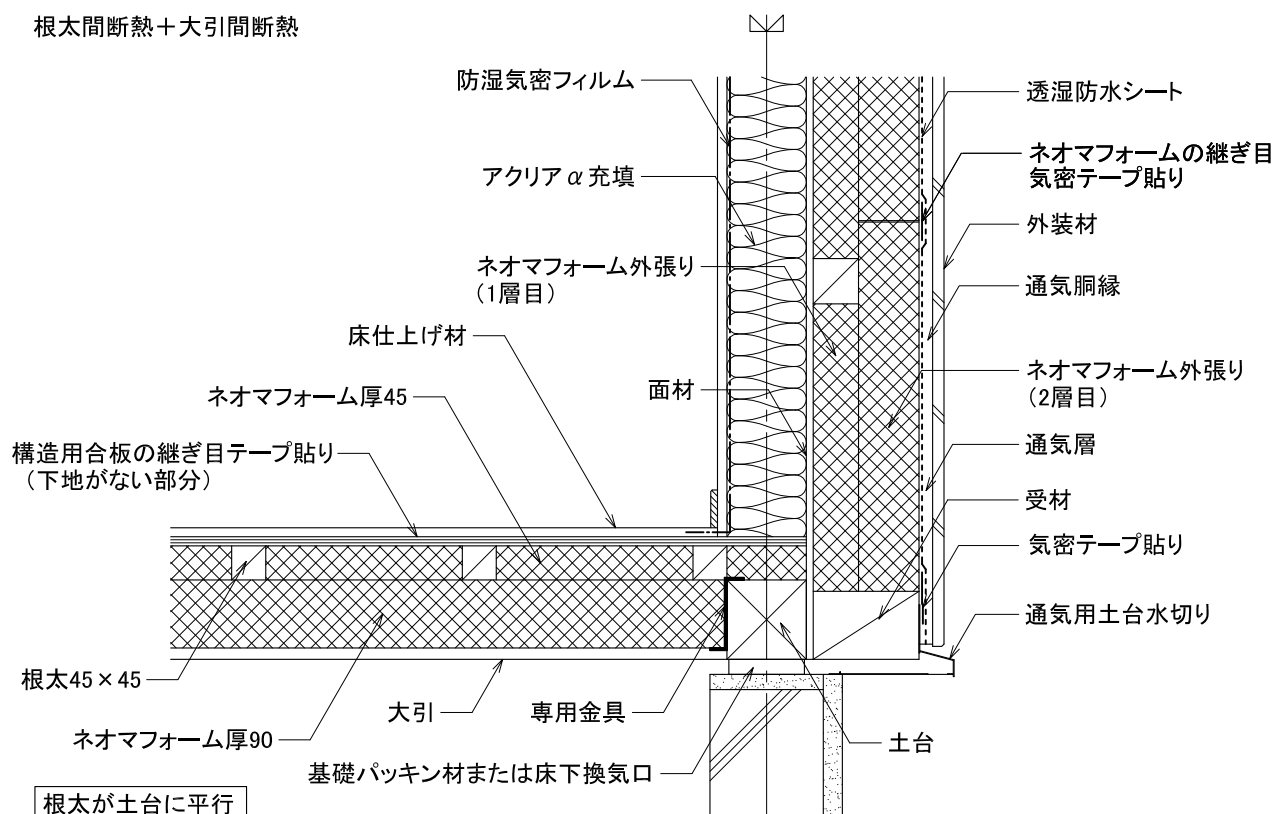
- ・床は、ネオマフォームのカット品を隙間なく充填します。
- ・根太間に充填する場合、際根太及び土台上のネオマフォームも、正確に切断加工して納めてください。
- ・構造用合板が床の気密層を兼ねます。下地がない部分の継ぎ目及び床と壁の取合部は、気密テープを貼り、気密層の連続を確保します。

※断熱材の厚さが図面と異なる場合も、同様の納まりとなります。

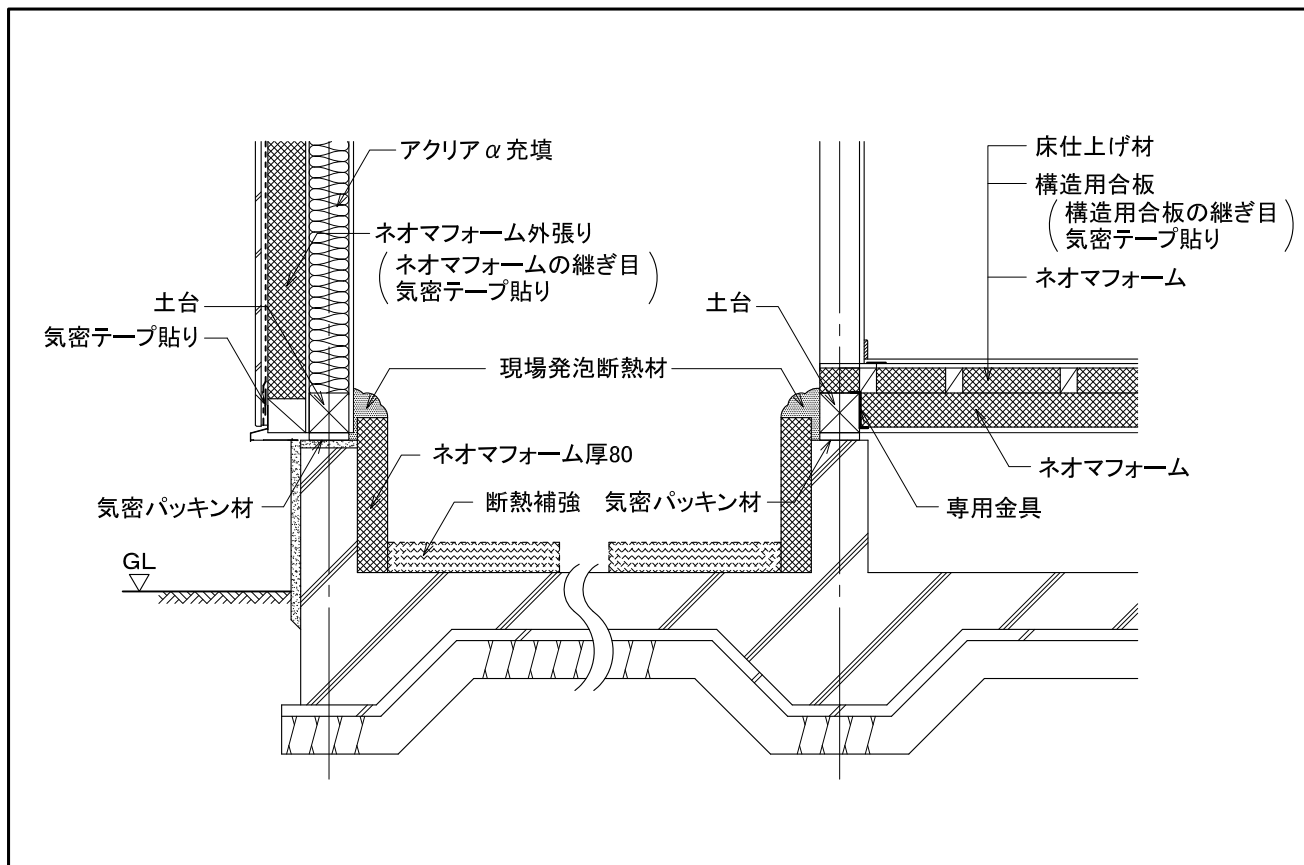
大引間断熱



根太間断熱+大引間断熱



・ユニットバスの設置前に断熱気密施工を完了しておきます。点検口部分もネオマフォームで必ずふさぎ、冷気の浸入を防ぎます。
※断熱材の厚さが図面と異なる場合も、同様の納まりとなります。
※水平方向に断熱材を施工し、断熱補強する場合があります。



推奨部材 外張り用ビス「ネオマフィットビス」について

●ビスの留め付け方

①外張りネオマフォーム 45,80,100mm の場合

受材:土台・軒桁に留め付けます。

通気胴縁:一般部は、柱・間柱まで留め付けます。受材部は、受材を貫通させて土台・軒桁まで留め付けます。

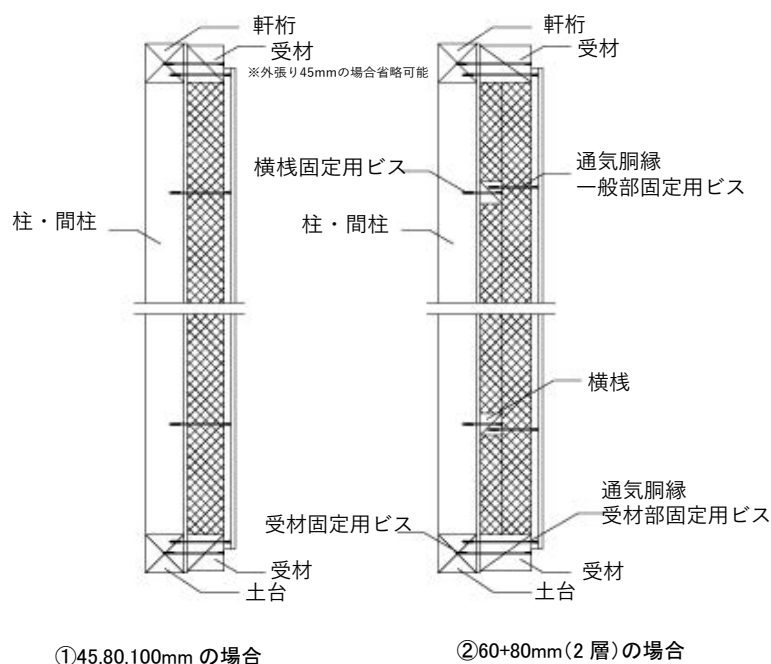
②外張りネオマフォーム 60+80mm(2層)の場合

受材:土台・軒桁に留め付けます。

横棧:柱・間柱に留め付けます。

通気胴縁:一般部は、横棧まで留め付けます。受材部は、受材を貫通させて土台・軒桁まで留め付けます。

※3階建て以上の場合は、留め方(受材位置など)が異なる場合がございます。別途お問い合わせください。



①45,80,100mm の場合

②60+80mm(2層)の場合

外張りネオマフォーム厚さに対するビスの品番

外張りネオマフォーム厚さ	品番
45mm	FV6×110M
80mm	FV6×150M
100mm	FV6×170M
140mm (60+80mm)	FV6×110M (横棧固定用) FV6×150M (通気胴縁一般部固定用) P6×200II+ (受材固定用・通気胴縁受材部固定用)

- ・通気胴縁厚 18mm、構造用面材に構造用合板、パーティクルボード、OSB、火山性ガラス質複層板など躯体の一部とみなせる強度を有する面材を使用した場合の例です。
- ・外張りネオマフォーム 140mm の場合は、通気胴縁受材部固定用にパネリードⅡ⁺ (シネジック株式会社製) 同等品をご使用ください。

●主な外装材の重量に対するビスピッチおよび横棧間隔

外装材重量(1m ² あたり) ＜参考＞(主な外装材)	ビスピッチ(mm)			横棧間隔(mm)
	外張りネオマフォーム厚さ			
	45mm	80mm	100mm	140mm(60+80mm)
17kg/m ² 以下 (サイディング厚さ 15mm)	455 以下	455 以下	455 以下	455 以下
20kg/m ² 以下 (サイディング厚さ 16mm) (サイディング厚さ 18mm)	455 以下*	455 以下	455 以下	303 以下
23kg/m ² 以下 (パワーボード) (サイディング厚さ 21mm) (軽量セメントモルタル 15mm)	455 以下*	455 以下	455 以下	—

・計算条件は下記の通りです。その他の場合はお問い合わせください。

通気胴縁間隔:455mm、通気胴縁厚:18mm、受材:高さ 3m 以内に 1 箇所(2 階建ての住宅を想定)

受材寸法:外張りネオマフォーム 45mm の場合 45×45mm、80mm の場合 80×80mm、100mm の場合 100×100mm、
140mm の場合 140×90mm

構造用面材:構造用合板、パーティクルボード、OSB、火山性ガラス質複層板など躯体の一部とみなせる強度を有する面材

・外張りネオマフォーム 45mm の場合、軒桁部の受材の省略が可能です。ただし、受材なしの場合は、表中(*)のビスピッチは 303 以下となります。

・外張りネオマフォーム 2 層の場合、通気胴縁一般部固定用ビスは横棧に留め付けます。そのため、横棧の間隔は、通気胴縁のビスの留め付けピッチとなり、外装材の重量が重い場合は横棧間隔が狭くなります。

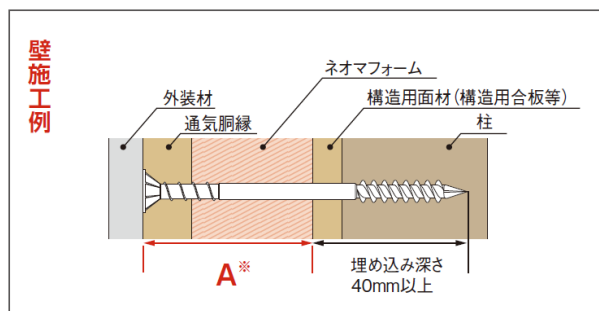
・ネオマフィットビス以外の留め付け材を使用する際は、各メーカー様等にお問い合わせいただき、強度などをご確認の上施工してください。

＜参考＞

ビスのサイズの選び方について、ネオマフォームの厚さが上記でない場合は、下記を参考にしてください。

下図の A 寸法を計算し、適合表からビスの長さを選びます。

(通気胴縁の厚さに、ネオマフォームの厚さを加えたものを A とします。)



※躯体の一部とみなせる強度を有する構造用面材の場合

適合表

A 寸法	品番
160mm まで	P6×200Ⅱ ⁺ (パネリードⅡ ⁺)
140mm まで	FV6×180M
130mm まで	FV6×170M
110mm まで	FV6×150M
95mm まで	FV6×135M
70mm まで	FV6×110M
55mm まで	FV6×95M
45mm まで	FV6×85M

・A 寸法が 140mm 以上の場合は、パネリードⅡ⁺(シネジック株式会社製)同等品をご使用ください。

アクリア製品のお問い合わせ
旭ファイバーグラス株式会社

<https://www.afgc.co.jp>

ネオマフォームのお問い合わせ
旭化成建材株式会社

<https://www.asahikasei-kenzai.com>



G3 Way | 特設サイト